

## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信越自然郷におけるガストロノミーツーリズム推進事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人信州いいやま観光局 (飯山駅観光交流センター 高野賢一)
事業区分	(主) 産業振興、雇用拡大に関する事業 (関連) 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,965,167 円 (うち支援金: 1,572,000 円)

### 事業内容

信越自然郷の事業推進を行う信越9市町村広域観光連携会議では「食文化」を重点事業の一つとして掲げており、本支援事業を活用して地域の食文化や特徴ある食材を活かしたガストロノミー・ツーリズムの基盤を構築・推進し、競争力のある地域を目指すことを目的としている。これに向けて本支援金を活用し下記事業を行った。

1. 信越自然郷の食材を活用した料理教室 2回
2. 地域の食材収穫体験ツアー 2回
3. 信越自然郷 青空レストラン 2回
4. 住民への意識啓発を目的とした郷土色やスローフードに関する講演会 1回
5. 先進地視察研修 1回

### 事業効果

1. 信越自然郷の食材を活用した料理教室 2回  
宿を中心に合計54名の参加があり、調理方法や見せ方の工夫を学び、開催後の冬期繁忙時期の実践に活かす声が多かった。
2. 地域の食材収穫体験ツアー 2回  
青空レストランと同日開催し、合計40名の参加があった。
3. 信越自然郷 青空レストラン 2回  
収穫したての新鮮な食材の味の良さやシェフによる調理後の味や見た目の変化、ロケーションの素晴らしさへの評価を得た。
4. 住民への意識啓発を目的とした郷土色やスローフードに関する講演会 1回  
110名もの参加があった。ローカルガストロノミーが、観光や店舗経営において非常に有効であることの認識が広まった。
5. 先進地視察研修 1回  
WGメンバー7名参加。視察地内各事業者の意識向上、お客様の増加や客単価のUP、提供内容(質)の向上につながる取り組みを学んだ。

### 今後の取り組み

この事業の成果は、エリア内の宿や飲食事業者のガストロノミー・ツーリズムへの関心が高まり、複数の事業者が自ら実践しはじめることであり、提供する料理の質も含め一段高いレベルに上がる事である。3か年を基盤構築時期と捉えており、次年度は今年度事業の継続実施に加えて新たな事業として、大都市圏でのPRとガストロノミー・ツーリズムに積極的に参画する事業者の認証の仕組みに関する検討を行いたいと考えている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【料理教室】

### 【目標・ねらい】

- ① 地域の食文化の豊かさや価値を、地域住民、飲食関係者への意識啓発
- ② 飲食関係者の料理レパートリーの充実と調理スキルアップ
- ③ 一般旅行者への地域食材と魅力的なロケーションの認知拡大。

### ※自己評価 【A】

#### 【理由】

当初予定実施回数と人数を達成することができ、さらに事業者連携と次世代を担う高校生の参画が得られた。

(別記様式第12号) (第3の8関係)